

地域密着型金融推進計画

(平成17年4月～19年3月)

鹿児島信用金庫

1. 計画期間

平成17年4月から平成19年3月まで(2年間)

2. 経営理念

中小企業の健全な発展と地域社会の発展のため地域金融機関として密接な関係作りに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐えうる経営体質を作り上げ、お客様の総合的なパートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関としてともに成長・発展を目指す。

3. 目指す姿

当金庫は中期計画「かしんソリューション 03」において、経営体力の強化、経営管理体制の再構築、総合力の発揮など経営体質の強化を図ってまいりました。

今回の「地域密着型金融推進計画」ではこの基盤をベースとして、新たな成長ステージへと飛躍を図り、中小企業の事業価値及び個人の生涯価値を高めるため「身近で便利な課題解決型金融サービス業」を目指します。

目指す
姿

身近で便利な課題解決型金融サービス業

中小企業の事業価値及び個人の生涯価値を高めるため「身近で便利な課題解決型金融サービス業」を目指します。

お客様のニーズをよく知り、きめ細かに対応いたします。

収益性・健全性を高め、経営体質の強化を図ります。

一人一人が資質向上に努め、組織活力の向上を図ります。

4．基本目標

事業再生・中小企業金融の円滑化

お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能等の課題解決型サービスの提供や事業再生に積極的に取り組めます。

重点施策	経営相談・支援機能の強化 事業再生に向けた積極的取り組み 人材の育成
------	--

経営力の強化

収益体質強化のためにリスク管理のレベルアップなど「経営力の高度化」に取り組めます。また、お客様の信頼をより確かなものとするため、コンプライアンスの更なる徹底を図ります。

重点施策	リスク管理態勢の充実 収益管理態勢の整備 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化
------	---

地域の利用者の利便性向上

「お客様中心主義」に徹し、お客様のニーズに合った質の高い金融サービスを提供することによって、お客様に心から満足していただくとともに、健全性、収益性を高め企業価値を向上させてまいります。

重点施策	地域のお客様の満足度を重視した経営の確立
------	----------------------

組織力の向上

金融サービスの質や競争力を支えるのは「人材」とその集団としての「組織」です。人材の育成に取り組むとともに、「組織力の向上」により、営業力の強化を図ります。

重点施策	人材の育成と職員の活力を引き出す体制の整備
------	-----------------------

5. 計画期間中に推進する事項

事業再生・中小企業金融の円滑化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

- ・ 業種別審査態勢の強化と階層別の審査能力向上のための研修実施、業種別特性をまとめた審査マニュアルを作成し、それによる研修実施と審査能力の向上を図ります。
- ・ 「かしん事業先支援システム(仮称)」を構築し、産学官との連携や外部機関との連携強化を図り、創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援を行います。

(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

- ・ 「かしん経営大学」の継続による経営戦略を学ぶ機会の提供と「かしんビジネスサポートクラブ」による経営情報提供機能の強化を図ります。
- ・ 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化とそれに関する実績の公表を行います。

(3) 事業再生に向けた積極的取組み

- ・ 企業支援室が中心となり、事業再生に向けた積極的な取組みを行います。また、中小企業再生支援協議会の一層の積極的な活用を行います。

(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

- ・ スコアリングを活用したステップ保証やT K C戦略ローンの活用により担保・保証に過度に依存しない融資を推進します。

(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

- ・ 種々の契約については、お客様に適切かつ十分な理解が得られるよう説明態勢の整備を図ります。
- ・ お客様からの相談・苦情等には、迅速に対応する態勢の強化を図ります。

(6) 人材の育成

- ・ 企業分析力・目利き力の向上を図ることで、経営支援、事業再生が遂行できる人材の育成に努めます。

経営力の強化

(1) リスク管理態勢の充実

- ・ 信用リスクの計量化を目的とした信用リスクデータベースの構築に向けたシステム整備を行い、リスク管理態勢の整備を図ります。

(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上

- ・ 信用リスク調整後収益を収益管理上の最重要項目と位置付け、収益管理態勢の整備を図り、収益力の向上を目指します。

(3) ガバナンスの強化

- ・ 半期開示の充実を行うための体制整備を行うとともに総代会に一般会員の意見を反映させる仕組みなど総代会の機能向上に向けて取組みます。

(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化

- ・ コンプライアンス態勢の強化を図り、不祥事件等の発生防止に努めます。
- ・ 個人情報の安全管理を徹底するため、適切な顧客情報の管理体制の整備を行います。

(5) ITの戦略的活用

- ・ 勘定系システムを共同化することにより、リスク管理態勢や収益管理態勢の整備に向けたシステムインフラを構築します。

(6) 協同組織中央機関の機能強化

- ・ 余資運用について市場リスク対応や収益性確保のため信金中金とより一層の連携を図ります。

地域の利用者の利便性向上

(1) 地域貢献等に関する情報開示

- ・ 地域貢献等の情報開示の充実に努めるとともに、よくある質問や相談事例をまとめ、利用者にわかりやすい情報開示を行います。

(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

- ・ CS運動を強化するとともにモニター制による地域利用者の満足度を向上させるための情報を収集し、お客様の満足度を重視した経営方針への反映に努めます。

(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等

- ・ 地域再生のための取組みや地域活性化に向けた取組みを推進します。

6. 業績目標

地域社会・地域経済の発展に貢献するとともに、お客様に安心してお取引していただける強靱な経営体質を構築するため、達成すべき水準として以下の目標を設定いたします。

項 目	18年度(19年3月期)目標
中小企業等向け貸出金残高比率	75%以上
預貸率	65%以上
コア業務純益	13億円台
経営改善支援(ランクアップ数)	2年間で40先

- * この目標は、将来の業績を保証するものではなく、経営を取り巻く環境の変化などによるリスクや、不確実性を内包しておりますことにご留意ください。

地域密着型金融推進計画 体系図

